

中小企業景況調査報告書

令和5年 1 ~ 3月期 実績
 令和5年 4 ~ 6月期 見通し






鹿児島県商工会連合会

(令和5年4月発行)

この調査は、商工会地域の産業状況等地域の経済動向について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速・的確に収集して、全国商工会連合会と連携し、全国一斉に実施しているものです。

























この報告書の中で、用いられているD・I指数とは、ディフュージョン・インデックスの略で、【増加・上昇・好転】の割合から【減少・低下・悪化】の割合を差し引いた値で企業経営者の景気動向を表す指数として利用されています。

〈お天気マークの説明〉

 特に好調 +30.0 以上	 好調 +29.9~ +10.0	 まあまあ +9.9~ ▲9.9	 不振 ▲10.0~ ▲29.9	 極めて不振 ▲30.0 以上
---	---	---	---	--

- 調査対象期間 令和5年1~3月期を対象とし、調査時点は令和5年3月1日とした。
令和5年4~6月期は予測値となる。
- 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接調査による。
- 調査対象商工会 かごしま市・南九州市・さつま町・鶴の町・始良市・湧水町・霧島市
志布志市・大崎町・肝付町・錦江町・西之表市・あまみ・徳之島町
- 回答企業 対象企業 210業
製造業：44企業 建設業：30企業 小売業：59企業 サービス業：77企業

県内産業別業況DI

	製造業	建設業	小売業	サービス業
4年 1月 ~ 3月期	 ▲24.3	 0.0	 ▲43.1	 ▲48.0
4年 4月 ~ 6月期	 ▲29.6	 ▲6.7	 ▲25.4	 ▲26.7
4年 7月 ~ 9月期	 ▲34.1	 ▲6.7	 ▲33.9	 ▲23.4
4年 10月 ~ 12月期	 ▲11.4	 ▲3.3	 ▲23.7	 ▲14.3
5年 1月 ~ 3月期	 ▲7.0	 ▲16.7	 ▲25.9	 ▲24.7
来期見通し(4~6月期)	 ▲15.9	 ▲6.6	 ▲24.1	 ▲11.8

総合(業況)

前年同期(令和4年1月~3月期)と比較した今期(令和5年1月~3月期)の業況は、製造業▲7.0(前年同期比17.3ポイント改善)、建設業▲16.7(前年同期比同16.7ポイント悪化)、小売業▲25.9(前年同期比17.2ポイント改善)、サービス業▲24.7(前年同期比23.3ポイント改善)となった。

今期については、新型コロナウイルス新規感染者数が落ち着き、少しずつ回復しつつあると前期に見込みをしたものの、原材料費の価格上昇に対し、価格転嫁が難しく採算がとれず、全業種業況は悪化となった。

また前期(令和4年10月~12月期)と比較すると、製造業4.4ポイント改善となったものの、建設業13.4ポイント・小売業2.2ポイント・サービス業10.4ポイント悪化となった。

なお、来期(令和5年4月~6月期)の見通し(DI)は、今期と比較すると、製造業8.9ポイント悪化・建設業は10.1ポイント改善・小売業1.8ポイント改善・サービス業12.9ポイント改善となる見通しであり、4月になり電気料金や運送料をはじめ、調味料等の原材料費も軒並み価格上昇となり、価格転嫁や従業員の確保など中小企業は依然として厳しい状況にある。

業種別景気動向

【製造業】 有効回答数 44 企業

調査対象企業内訳：食料品(20)，飲料・飼料・たばこ(5)，一般機械器具(2)，家具・装備品(3)，木材・木製品(3)，プラスチック製品(1)，印刷・同関連(4)，金属製品(3) 窯業・土石製品(1)，その他(2)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
4年1月～3月期		▲23.9		▲35.7		▲19.0		▲24.3
4年4月～6月期		▲20.4		▲37.2		▲9.1		▲29.6
4年7月～9月期		▲16.3		▲45.4		▲11.4		▲34.1
4年10月～12月期		4.6		▲6.9		▲9.1		▲11.4
5年1月～3月期		▲6.8		▲25.0		▲9.3		▲7.0
来期見通し(4～6月期)		▲2.3		▲13.6		▲2.3		▲15.9

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・徐々に需要が回復してきたように感じる。仕入値が高騰しているが、商品の値上げにより対応できた。
(その他調味料製造業)
- ・コロナ禍の底も抜けつつある。飲食業の回復により受注が増加傾向にあるが、退職者等により営業の人材や時間が不足し、対応しきれていない。生産拡大のための設備も機材が入らず対応しきれていない。
(蒸留酒・混成酒製造業)
- ・主力商品の値上げを実施したが、日本の物価上昇スピードが値上げ分の吸収余幅を大いに上回り、生産設備の補修や配送車の買い替えによる負担も経営を圧迫している。
(食料品製造業)

経営上の問題点

第1位	原材料価格の上昇	46.3%	(前期比)	-7.4)
第2位	従業員の確保難	12.2%	(前期比)	+7.3)
第3位	原材料費・人件費以外の経費増加	7.3%	(前期比)	+7.3)

【建設業】 有効回答数 30 企業

調査対象企業内訳：総合工事業(21)，職別工事業(6)，設備工事業(3)

	完成工事額		採算		資金繰り		業況	
4年1月～3月期		0.0		▲13.3		▲3.3		0.0
4年4月～6月期		▲6.7		▲16.7		▲3.3		▲6.7
4年7月～9月期		10.0		▲23.3		0.0		▲6.7
4年10月～12月期		6.6		▲16.7		▲10.0		▲3.3
5年1月～3月期		▲13.4		▲36.6		▲13.3		▲16.7
来期見通し(4～6月期)		▲3.3		▲20.0		▲3.3		▲6.6

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・資材価格が高止まりする中、更なるコスト増に繋がる賃上げには慎重になるが、目先の需要(災害復旧工事)の取こぼしを避ける為に、人手は確保しなければならず、当面は下請単価が高くても協力を要請している。
(一般建築土木工事業)
- ・仕入、材料価格の上昇により新築の受注が減少。
(建築工事業)
- ・公共工事が町も県も著しく少なく、入札での売上が伸びない。
(一般土木建築工事業)

経営上の問題点

第1位	材料価格の上昇	52.0%	(前期比)	-14.7)
第2位	官公需要の停滞	16.0%	(前期比)	+16.0)

【小売業】 有効回答数 59 企業

調査対象企業内訳： 飲食料品 (24)， 各種商品 (4)， 織物・衣服・身の回り品 (6)， 家具・建具 (4)
自動車・自転車小売業 (1)， その他 (20)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
4年1月～3月期		▲48.3		▲43.3		▲27.6		▲43.1
4年4月～6月期		▲20.4		▲32.8		▲22.4		▲25.4
4年7月～9月期		▲22.1		▲33.9		▲20.3		▲33.9
4年10月～12月期		▲20.4		▲28.8		▲18.6		▲23.7
5年1月～3月期		▲11.9		▲33.9		▲18.6		▲25.9
来期見通し(4～6月期)		▲11.8		▲20.3		▲13.5		▲24.1

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・売上に対してガソリン仕入の値段が上がっている為、利益が少なく感じる。(ガソリンスタンド)
- ・仕入単価が上昇してきている。特に海外からの仕入商品が高騰しており、今後上代の値上げも検討しなければならない。(男子服小売業)
- ・仕入原価の高騰に歯止めがかからず、利益を圧迫している。売価に転嫁しようと思っても他社への乗り換えが心配でなかなか難しい状況である。(各種商品小売業)

経営上の問題点

第1位 仕入単価の上昇	48.1% (前期比 +7.7)
第2位 需要の停滞	9.3% (前期比 -9.9)
第3位 購買力の他地域への流出	7.4% (前期比 -0.3)

【サービス業】 有効回答数 77 企業

調査対象企業内訳： 洗濯・理美容業 (19)， 飲食店 (24)， 自動車整備業 (11)， 宿泊業 (9)
運送業 (2)， その他 (12)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
4年1月～3月期		▲49.3		▲45.5		▲28.6		▲48.0
4年4月～6月期		▲15.6		▲37.7		▲17.1		▲26.7
4年7月～9月期		▲15.6		▲31.2		▲24.7		▲23.4
4年10月～12月期		▲6.5		▲36.4		▲13.1		▲14.3
5年1月～3月期		▲16.9		▲37.7		▲20.8		▲24.7
来期見通し(4～6月期)		▲1.3		▲29.9		▲13.0		▲11.8

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・客数が増え売上は好転しているが、仕入値や水道光熱費の高騰により業況は良くなった印象はない。(ラーメン店)
- ・少しずつではあるがコロナ前に戻ってきている実感がある。しかし材料費や光熱費の値上がり少し心配されるところである。(美容業)
- ・素泊まりはいいが、食事付きの宿泊客の仕入価格が上昇しているものの、値上げは厳しい状況にある。(旅館・ホテル業)

経営上の問題点

第1位 材料等仕入単価の上昇	45.1% (前期比 +7.6)
第2位 需要の停滞	9.9% (前期比 -1.2)
第3位 新規参入業者の増加	8.5% (前期比 +7.1)

全産業【鹿児島県】

2023年1月期～3月期

	今期（前年同期比）					来期（対前年同期比来期見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	210	21.4	44.3	34.3	-12.9	210	23.8	47.6	28.6	-4.8
売上（加工）単価・客単価	179	18.4	62.6	19.0	-0.6	180	17.2	68.9	13.9	3.3
売上（加工）数量	44	18.2	52.3	29.5	-11.4	44	13.6	63.6	22.7	-9.1
客数	59	11.9	54.2	33.9	-22.0	59	11.9	57.6	30.5	-18.6
利用客数	77	20.8	44.2	35.1	-14.3	77	28.6	40.3	31.2	-2.6
資金繰り	209	5.7	71.8	22.5	-16.7	209	10.0	70.3	19.6	-9.6
輸出額	19	5.3	89.5	5.3	0.0	20	5.0	90.0	5.0	0.0
受注（新規契約工事）額	30	20.0	53.3	26.7	-6.7	30	20.0	56.7	23.3	-3.3
原材料・商品等仕入れ単価	207	83.1	16.9	0.5	82.6	208	67.8	30.3	1.9	65.9
原材料在庫数量	43	7.0	72.1	20.9	-14.0	43	7.0	76.7	16.3	-9.3
商品仕入数量	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
商品仕入額	58	44.8	36.2	19.0	25.9	59	39.0	45.8	15.3	23.7
商品・商品在庫数量	103	3.9	78.6	17.5	-13.6	103	4.9	80.6	14.6	-9.7
採算（経常利益）	210	7.1	51.9	41.0	-33.8	210	9.0	59.5	31.4	-22.4
従業員（含臨時・パート）	192	4.7	83.3	12.0	-7.3	191	3.7	74.9	5.8	-2.1
外部人材（請負・派遣）	116	3.4	89.7	6.9	-3.4	119	3.4	89.9	6.7	-3.4
設備操業率	43	9.3	74.4	16.3	-7.0	42	7.1	81.0	11.9	-4.8
引合	73	15.1	67.1	17.8	-2.7					0.0
受注・契約残	72	6.9	77.8	15.3	-8.3					0.0
業況（自社）	208	13.0	53.8	33.2	-20.2	208	11.5	61.5	26.9	-15.4

	今期（前期比）					来期（対当期比見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	209	18.7	41.6	39.7	-21.1					
売上（加工）単価・客単価	179	17.3	65.9	16.8	0.6					
売上（加工）数量	43	14.0	53.5	32.6	-18.6					
客数	59	10.2	52.5	37.3	-27.1					
利用客数	77	11.7	45.5	42.9	-31.2					
資金繰り	207	5.8	73.4	20.8	-15.0					
業況（自社）	207	10.6	59.9	29.5	-18.8	208	10.1	69.2	20.7	-10.6
受取手形期間	42	0.0	97.6	2.4	-2.4	42	0.0	97.6	2.4	-2.4
長期資金借入入難度	170	2.9	85.3	11.8	-8.8	170	2.9	87.6	9.4	-6.5
短期資金借入難度（含手形割引）	154	3.2	88.3	8.4	-5.2	155	1.9	91.0	7.1	-5.2
借入金利	171	4.7	93.0	2.3	2.3	170	4.1	95.3	0.6	3.5

	今期の水準				
	企業数	↗	→	↘	D I
業況（自社）	210	9.5	55.2	35.2	-25.7
生産に対する原材料在庫	43	2.3	90.7	7.0	-4.7
売上に対する製品在庫	102	4.9	87.3	7.8	-2.9
採算（経常利益）	210	13.8	64.3	21.9	-8.1
引き合	73	11.0	69.9	19.2	-8.2
生産設備	44	0.0	84.1	15.9	-15.9
従業員（含臨時・パート）	198	1.0	82.3	16.7	-15.7